

12月18日(金曜日)「キリスト者の自由」

【新改訳 2017】

ガラテヤ 5・13-26

「兄弟たち。あなたがたは、自由を与えるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに支えなさい。」(13節)

人間は皆、自由を求めています。このため、人類の歴史は革命や戦争を繰り返してきたと言えます。パウロは、キリストは自由を得させるために私たちを解放してくださったと言っています(1節参照)。

自由には、生来の肉の性質の働きを満足させるものと、きよい霊的なものとがあります。肉(生来の自己中心の性質)の働く自由は、不品行、汚れ、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂分派、ねたみ、酪酊、遊興などを求め、楽しみ、同時に、苦しむのです。それは、神の国を継ぐことはできません。しかし霊的な自由は、御霊の実を結ぶのです。それは、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。これがキリスト者の自由の特徴です。

すばらしい自由ではありませんか。

～祈り～

主イエスさま。あなたが与えてくださった自由を、正しく生かすことができるように助けてください。御霊の実を結ぶ人生となりますように。

【学びのために】

キリスト者の自由というテーマで徹底的に論じている書の一つは、マルチン・ルターの『キリスト者の自由』です。日本語訳もありますので、一読されることをお勧めします。